

授業科目名	幼児と造形表現			科目コード	KOIC 0033
学科・コース名	こども未来科			履修区分	必修
授業形態	演習	開講学年	2年次	学期	前期
担当教員	泰田久史	実務経験	有	単位数	1 単位
授業の 目的・目標	・子どもの描画発達と表現の特徴について学び、保育援助の本質となるそれぞれの子どもの発達段階に適した援助について理解する。 ・作品制作を通して創作の楽しさを体験することで、幼児の造形表現に寄り添い、成長を見守る保育者として必要な造形教育援助方法を身につける。				
授業の概要	・幼児画の発達段階と特徴について資料を使った授業を行うことで、幼児期の発達に適した創作援助について理解を深める。 ・実際に作品制作を行うことで、子どもとの創作活動に役立つ様々な素材や表現方法の基礎知識と造形教育指導の実践的な習得を目指す。				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1	オリエンテーション			1年次に造形表現で学んだ事を復習しておく	120分
2	幼児画の発達過程と特徴 0歳児～1歳児			教科書関連ページの予習、復習	120分
3	幼児画の発達過程と特徴 2歳児～3歳児			教科書関連ページの予習、復習	120分
4	幼児画の発達過程と特徴 4歳児～5歳児			教科書関連ページの予習、復習	120分
5	紙版画制作 構成・制作			紙版画で描かれる線や面の仕組みを理解する	120分
6	紙版画制作 制作			授業に引き続き、試作の工夫できる箇所はないか考える	120分
7	紙版画制作 制作・版画 仕上げ			紙版画制作のまとめを行う	120分
8	美術表現技法を使って「四季」をテーマにおもちゃを考える			四季を感じられること、物をまとめておく	120分
9	美術表現技法を使って「四季」をテーマにおもちゃを考える			子どもの視点で「四季」や「おもちゃ」を考える	120分
10	おもちゃの仕組みを考える			材料の選定、準備等を行う	120分
11	おもちゃの仕組みを考え、試作を作る			授業に引き続き、試作の工夫できる箇所はないか考える	120分
12	おもちゃの試作・デザインを考える			授業に引き続き、試作の工夫できる箇所はないか考える	120分
13	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを完成させる			おもちゃを完成させて提出	120分
14	作品の発表・鑑賞			自己の反省や課題をまとめる	60分
15	まとめ、レポート			全授業の整理とまとめを行う	180分
評価方法	・講義ごとの課題・提出物70% ・作品の表現(発表)と鑑賞 (感想文含む)30%				
教科書参考書	造形表現(指導法) 通信教育部 近畿大学九州短期大学 図画工作 通信教育部 近畿大学九州短期大学 幼児教育の研究 保育内容「造形表現」(株)萌文書林2016				